

11月19日(土) 2022年度新人戦 準々決勝

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
大工大	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	0	5
大工大	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	1x	6x

大阪公立大学(1塁側)

対

大阪工業大学(3塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	右	樋口	1	刈谷	3	0	0	
2	三	田中啓	2	伊勢	4	1	0	
3	中	山中	2	明星	3	2	2	
4	捕	中村	2	西京	5	1	1	
5	指	近藤	1	膳所	2	0	0	
	打指	京橋	1	清教学園	4	1	1	
6	左	小泉	2	清教学園	2	0	0	
	打	小田	1	県立伊丹	1	0	0	
	左	尾北	1	四條畷	1	0	0	
7	一	石守	1	札幌開成中等教育	3	0	0	
8	二	大西健	1	長田	5	1	1	
9	遊	疋田	1	広島新庄	2	1	1	
投		中野	2	兵庫	-	-	-	
		吉谷	2	高島	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	10	11	3	0	2	35	7	6

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	左	入谷	1	東海大学附属大阪仰星	3	0	0	
	左	坂本悠	1	明秀学園日立	1	0	1	
2	遊	道下	1	武田	3	0	1	
	遊	香川	2	大塚	2	1	2	
3	中右	小川	2	日本航空石川	4	0	0	
4	一	西岡	2	大冠	4	0	0	
5	右	野馬	2	東海大学甲府	2	1	0	
	打中	濱口	2	近江	2	1	0	
6	指	吉富	2	金光大阪	2	0	0	
	打指	亀井	1	市立和歌山	2	0	0	
7	三	上野	2	東北	2	1	0	
	打	佐藤	1	奈良大学附属	1	0	0	
	走	福井	2	尽誠学園	-	-	-	
	捕	杉本	2	日本航空石川	1	0	0	
8	捕	平城	1	藤正社	2	0	0	
	打三	原田	1	東北	2	1	1	
9	二	三山	1	岡山理科大学附属	4	2	0	
投		山崎	1	金沢	-	-	-	
		大江	1	興國	-	-	-	
		谷川	1	東山	-	-	-	
		伊勢	2	阪南大学	-	-	-	
		矢野	2	奈良大学附属	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	9	1	4	0	1	37	7	5

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
中野	6 2/3	88	28	27	6	7	0	3	2
吉谷	4 1/3	42	14	10	1	2	0	2	0
合計	11	130	42	37	7	9	0	5	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
山崎	5	84	20	18	2	3	2	0	0
大江	2	52	13	8	3	4	4	2	2
谷川	1	13	3	2	0	1	1	0	0
伊勢	1	13	5	1	0	0	2	1	0
矢野	1 1/3	26	9	7	2	2	2	3	0
合計	10 1/3	188	50	36	7	10	11	6	2

【戦評】

1回裏、田中啓が安打により出塁すると、捕逸、続く山中の四球により、一死一二塁のチャンスを作ります。後続が絶たれこの回は得点することが出来ませんでしたが、初回から積極的な攻めの姿勢を見せます。

先発の中野は、安定したピッチングにより、初回を三者凡退に抑えます。2回表も、ランナーを出すも後続を打ち取り、無失点に抑えます。

しかし3回表、一死一塁の場面で、牽制が逸れた間に相手走者を三塁まで進ませてしまいます。その後、守備のエラーにより1点を奪われ、先制点を許します。

何とか追いつきたい大工大打線は、5回裏、疋田が二塁打を放ちチャンスを作るも、得点に繋げることができません。

さらに7回表、一死二塁の場面で相手打線に連打を放たれ1点を許します。なおも続く一死一二塁のピンチ。次打者を打ち取り、このまま終わりたい所でしたが、味方の失策によりさらに1点を追加され、中野はここでマウンドを降ります。その後マウンドを任された吉谷は後続を打ち取り、これ以上の失点は食い止めます。

何とせめても点を返したい7回裏、大工大打線の反撃が始まります。先頭打者の疋田、樋口が四球を選び出塁すると、続く田中啓の犠打によりそれぞれ二塁、三塁に進みます。今日一番のチャンスで打席に立った山中は、捉えた打球をセンター前に飛ばし、一気に2人が生還します。

守備では8・9回を、吉谷の落ち着いた投球により計7人で抑え、攻撃の流れを相手に渡しません。

このままでは終われない9回裏、先頭打者の樋口が死球で出塁すると、田中啓の犠打、相手投手の暴投により三塁まで進みます。絶対に1点は返したい場面で、続く中村がスクイズを成功させついに同点に追いつき、試合はタイブレークに入ります。

タイブレークは大会規定により、ランナーを一死二塁に置いた状態から行われます。10回表、犠打により一死二三塁とされると、続く打者に三塁打を放たれ、一挙2点を失います。

その裏、大工大の攻撃では、中村、京橋のダブルスチール、石守の四球により一死満塁とすると、次打者の大西健の適時打により、1点を返します。さらに疋田も四球を選び押し出しによりまたも同点に追いつきます。

11回表、またしても先頭打者の犠打により一死二三塁とされます。しかし、続く打者をキャッチャーフライに打ち取ると、飛び出していた三塁ランナーをアウトとし、この回無失点に抑えます。

その裏、先頭打者の山中の安打により無死満塁とすると、最後はファーストゴロをホームへ送球する間に、三塁ランナーの樋口が滑り込み1点を奪い、6x-5で勝利いたしました。